

西海市環境実践モデル地域連携協議会
西海市風力発電等に係るゾーニング計画 第3回分科会（陸上風力ワーキンググループ）
議事概要

日時：2018年2月14日 13:15～15:00

会場：西海市大瀬戸コミュニティセンター

1、開会あいさつ

池上会長より、これまでのゾーニング事業の検討の振り返り及び最終的なとりまとめに向けた流れを含めたあいさつがあった。

2、議事

(1)陸上風力発電における検討の経緯について

(2)事業推進エリア（案）について

(3)ゾーニング計画書（素案）について

- ・ゾーニングマップ案
- ・地域振興策のメニュー案
- ・ロードマップ案

(4)今後の課題について

(5)その他

事務局アジア航測（株）（以下、事務局 AAS）より上記議事について、資料をもとに説明を行った。その後、委員、オブザーバーより、上記議事に対する意見・質問を伺った。

◆議事(1) 陸上風力発電における検討の経緯について

◆議事(2) 事業推進エリア（案）について

【社会教育課：原口委員代理】

- ・七ツ釜鍾乳洞の正式名称は七釜鍾乳洞である。「ツ」は不要なので抜くこと。また、資料3のp3の表2-3の第3回協議会の意見等とその対応（案）及び資料4のp4の「エリアにおける留意事項」の中で、「石鍋」遺跡の出土、という記載があるが、石鍋は露出している場合もあるので、「出土」では誤解も生まれる。「存在」する等、文章を工夫していただきたい。

→ご指摘いただいた点について修正する。（事務局 AAS）

【西海市農業委員会：岩崎委員】

- ・ 資料 4 の事業推進エリアの個票（中浦地区）では、養豚場の位置を示し、留意事項としているが、事業を実施する際には養豚場で作業している人の健康面についても配慮していただきたいと考える。
- ・ 中浦地区の北側は優良な農地でみかん等が作られている。事業推進エリアには入っていないが、近傍に位置するので、事業が推進されるのであれば、近傍の農家の方への協議等、配慮を十分にしていきたい。

【長崎西彼農業協同組合 大瀬戸支店：瀬川委員】

- ・ 中浦地区は地域住民を含めた関係者での風力発電導入への検討・協議が進められているが、多以良地区の検討・協議状況についてお聞きしたい。
- これから相談、協議する予定である。行政区長やその他関係者の方々とアポイントを取るところからであり、次回協議会まで時間がないが、可能な限り接触を試みたい。（事務局西海市）

【農業委員会事務局：中村委員】

- ・ 資料 4 の事業推進エリアの個票（中浦地区）の「エリアにおける留意事項」のうち、水道利用について、エリア内の既設水源（西海町伊佐の浦川砂防ダム）は農業用ではないか？管理者は管理組合であると思われる。当然その下流域で集水をしていると思うので、その後の文案は問題ないと思われる。
- ご指摘いただいた点について、原典の資料を確認する。（事務局 AAS）

【長崎県林政課】

- ・ 資料 3 の p6、資料 4 の p4,7 において、森林施業計画の文言がみられるが、森林経営計画に表現を統一すること。また、森林区域であれば、地域森林計画の対象となる。資料 4 の p7 の図面は地域森林計画の中で策定されている森林経営計画という位置づけであるので、修正が必要である。
- ご指摘いただいた点について修正する。次回の協議会までに修正した文章をご確認いただく。（事務局 AAS）

【西海里山倶楽部：上野委員】

- ・ 資料 4 の p3 には留意事項として景観の眺望点が 13 地点選定されているが、どこを基準に選定されているのか不明である。また、支障のない程度に配慮するというのは事業者任せということにならないか。
- 事業推進エリアに大型の風車が建設された場合、ヒアリング・文献等で整理した眺望

点からどのように見えるかについて整理している。その結果、本ゾーニング事業では、円で囲まれた視野角 1°以上で見える可能性のある範囲では 13 か所の眺望点が含まれ、事業が具体化された段階で事業者がこれらの眺望点からの眺望の影響の検討をする必要があるという整理をしている。(事務局 AAS)

- ・地域との共生メニューにある先進事例は、事業によるメリットしか記載がない。デメリット(懸念事項)の記載があってもよいのではないか。

→デメリットだけを記載するのは、悪いイメージを与えてしまうので、記載するとなるのであれば、デメリットに対する配慮策も併せて記載する方がよいのではないか。(池上会長)

【九州地方環境事務所】

- ・事業推進エリアから垂直見込角 1°以上の範囲に存在する眺望点を抽出しているが、各種計画や利用性の観点からの眺望点の抽出をするべきではないか？ 13 か所をクリアすればよいという誤解を与えないような文言にしてほしい。

→主要な眺望点の抽出に際しては、既存文献や関係機関へのヒアリングをもとに行っている。今回表示している垂直見込角 1°の範囲は、中浦地区で仮に事業が行われた際に、環境アセスにおいて景観の一般的な調査範囲の設定に用いられていることもあり、目安として示したものである。表現については案を作成し、確認を行う。(事務局 AAS)

【九州農政局】

- ・資料 4 の p8 に「事業推進エリアにおける参考情報」の耕作放棄地について、「事業化の際には風力開発と一体的に土地の有効活用を検討することが可能である。」という記述があるが、具体的にどういう活用が考えられるのかというところをお聞きしたい。完全に農業と切り離した扱い方なのか、それとも、風力発電の建設にあたって、作業道の整備をすると思うので、それによって、より農業をしやすい環境を整備していく流れなのかお聞きしたい。また、地域振興の先進事例のうち、みやま市の事例については、雇用増加等の観点もあるのかもしれないが、自治体が主体的に立ち上げた地域新電力会社の事例であり、西海市の今回の事業の取り組みからはイメージしづらいので、参加されているみなさんがイメージしやすい事例を紹介していただければより、地域振興に対する具体的な要望が出てくるのではないか。

→本事業も年度末まで時間がないが、地域共生メニューについては西海市をよりイメージできるものを事務局に検討していただきたい。(池上会長)

【長崎総合科学大学：池上会長】

- ・今回さまざまなご意見いただいたが、中浦地区と多良良地区を事業推進エリアとして

整理していくことをご承認いただきたい。また、ご指摘いただいた留意事項等の表現については、委員・オブザーバーに確認しながら、修正をしていく。

◆議事(3) ゾーニング計画書（素案）について

【長崎県林政課】

- ・資料 5 の p19～20 の書きぶりについて、資料 4 の方では記載のある、「関係者と協議する必要がある。」というのが抜け落ちているので、追記していただきたい。

→ご指摘いただいた点について修正する。（事務局 AAS）

【長崎総合科学大学：池上会長】

- ・ロードマップについて西海市はどのようにお考えか？

→導入目標等これから精査が必要であると考えている。（事務局西海市）

- ・地域共生策については西海市との関連を踏まえた検討をお願いしたい。

→これから協議会までに案としてまとめていくので、お気づきの点について、むこう 1 週間をめどにご連絡いただきたい。

◆議事(4) 今後の課題について

【事務局西海市】

- ・多以良地区については、今後地域の方々との協議を始めから進めていくうえで、重要な関係者のご紹介をいただけないかと考えている。

→候補地がわかれば、近隣の方々を紹介できるかもしれない。（長崎西彼農業協同組合 大瀬戸支店：瀬川委員）

→もう少し詳細な図面をお持ちして相談に伺いたい。（事務局西海市）

3、その他

事務局西海市より今後のスケジュールの説明が行われた。

第 4 回協議会を以下の通り開催する。

日時：2/28（水）

場所：西彼総合支所 2F

4、閉会